

登園届 (保護者記入)

施設長 殿

児童名

病名

()

令和 年 月 日 医療機関名「 」を受診し上記診断を受けました。

裏面に記載してある登園のめやすの状態に回復し、集団生活に支障がない状態と判断しましたので、登園いたします。

令和 年 月 日

保護者名

【保護者様】

乳幼児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

医師の診断を受け、保護者が記入する登園届を求める感染症

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水痕・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
インフルエンザ (当面の間) ※登園届(インフルエンザ用)をお使いください。	症状が有る期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(乳幼児にあっては、3日を経過するまで)

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
新型コロナウイルス感染症（当面の間） *登園届（新型コロナウイルス感染症用）をお使いください。	特に発症後 5 日間で他人に感染させるリスクが高い	発症から 5 日間経過し、かつ、症状軽快後 1 日を経過するまで
伝染性膿痂疹（とびひ）	湿潤な発疹がある間	皮しんが乾燥しているとか、湿潤部位が覆える程度のものであること （皮しん・痂皮が湿潤している間は、接触による感染力が認められる）
伝染性軟属腫（水いぼ）		掻きこわし傷から、滲出液が出ているときは被覆すること
頭じらみ	発症から駆除開始し、数日間	駆除を開始していること

* その他：原因不明の発熱、咳、嘔吐、下痢、発疹などの症状があるとき

1. 伝染性膿痂疹（とびひ）は、擦り傷、虫刺され、あせも、アトピー性皮膚炎等の小さな傷から細菌が感染します。 感染した場合には、病院で診察を受けて正しい対応をするように、保護者をお願いします。 感染している人の膿の入った水ぶくれが潰れて、中の菌があちこちに飛び火のように広がる病気です。
2. 水いぼは、皮膚や粘膜のウイルス感染症で、完治には長い期間がかかる場合もあり、感染しても熱や特別な症状が出ないため、自然に治るのを待つ、と言う考え方と、周りの児童に伝染することを防ぐために積極的に治療すべきだ、と二つの考え方があります。

*** 1・2に感染した場合には、全身に広がる前に受診し、医師の診断結果を保護者が記入する「登園届」の提出をお願いします。また、下記の点に留意し、ご協力をお願い致します。**

- 感染を防ぐため、膿んでいる部分が露出しないように、絆創膏や防水パッチ、ガーゼ等で覆って下さい。
- プール遊び時は、水いぼの部分が露出しないように「ラッシュガード」の着用をお願いします。
- 症状により、医師や保護者と相談した上、水遊びに変更する場合があります。

3. 頭じらみは、感染している人との直接・間接の接触やスイミングプールなどで感染する場合があります。 感染に気付いたら直ぐに皮膚科へ受診し、医師の診断結果を保護者が記入する「登園届」の提出をお願いします。

プール遊び開始前に各家庭でしっかりとチェックをしていただき、感染が疑われる場合は薬やシャンプーでの駆除をお願いします。 園では、すぐに同じプールで遊ぶことは避けて、治療の結果を観察して、他への感染がなくなるまで、別の場所での水遊びとなります。